

「Overseas Internship in モンゴル 2026 夏期」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部／大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。ただし、モンゴル日本人材開発センターの方で選考がある。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【モンゴル・ウランバートル】モンゴル日本人材開発センター（教育学部協定先、MOU 締結済）

4. 日 程

8月3日(月)-8月14日(金)、8月24日(月)-9月4日(金)、9月14日(月)-9月25日(金)、のいずれか。

5. 概 要

モンゴル日本人材開発センター（以下、「日本センター」）は、JICA および国際交流基金の支援のもと、モンゴルにおける日本の総合的な情報発信拠点として、モンゴルの市民向けにビジネスセミナー、日本語教育、日本の文化紹介、日本留学に関する情報提供をはじめ、種々の日本関連イベントを実施しています。日本センターではグローバル社会で活躍を希望する大学生の就業体験を目的として、日本の大学生のインターン受入事業を行っています。日本センターにおける就業体験は、インターン生が国際協力の仕事への理解を深め、かつ異文化体験を通じて国際性を育む機会となるものです。なお日本センターには5名の日本人専門家がJICA及び国際交流基金から派遣されており、またモンゴル人職員の大半が日本語で業務を行っているため、日本語で就業体験が可能です。

6. 受け入れ手続き

学生の履歴書（様式自由）・志望理由書（日本センター指定様式）、参加申込書（教育学部指定様式）、海外渡航届（大学指定様式）を、5月11日（月）17時までに教育学部学務窓口まで提出ください。窓口教員経由で日本センターに締め切り（5月15日（金））までに提出し、その後、面接などの手続きを経た上で、日本センターで受入の可否が決定されます。日本センターと大学間でインターンシップ協定を締結のうえ、受入を実施します。

【全体の流れ】

1. 日本センターに以下の書類を提出

-履歴書（日本語、英語いずれも可）※書式自由

-志望動機（日本センター指定様式）：希望する配属課、オプションサポート追加可否をご記入ください。配属課の希望がない場合はその旨を記載ください

2. 5月下旬 日本センター担当課長とオンライン面接（10分程度/名）

3. 6月初旬に面接結果のお知らせ、誓約書の記入、送付をもってインターンシップ受け入れ決定

4. 8月～順次インターンシップ開始

7. 受け入れプログラム例（実際のプログラムは現地での状況が優先されます）

(1) オリエンテーション

日本人専門家およびセンター職員による下記オリエンテーションの実施

1 日本センター事業紹介 2 安全講習 3 モンゴル文化紹介 4 初歩モンゴル語講座

(2) ビジネス課・日本語課・図書交流課における就業体験

インターン生の希望・関心に基づく各課での就業体験プログラム

1 ビジネス課 :ビジネスコースのセミナー聴講、企業訪問への随行

2 日本語課 :日本語授業の聴講・参加、教材作成支援

3 図書交流課 :図書室業務、日本語学習者との交流イベント

その他にも日本センターで実施される各種イベントの機会にはインターン生に積極的に参加していただきます。詳しくは、添付の PPT スライドを参照のこと。

8. 費用

1 名につき 60,000 円 (受入プログラム開発費として) ※この費用には航空賃・現地滞在費用・海外旅行保険料、現地での PCR 検査代金は含まれません。その他の経費は、空港ピックアップ 10,000 円、帰国時の空港お送り 10,000 円、moncozy 宿舎(キッチン・リビングルーム共用。トイレ、シャワー付き。) : 33,000 円~42,000 円/2 週間。土日モンゴル体験は別途費用が必要。

9. その他

本研修は、現地で学生自身で行うものであることを理解して、申し込んでください (要望があれば、教員による往路の引率を検討しますが、基本、一人で海外渡航できるものを参加の条件とします)。飛行機予約、PCR 検査等は学生ご自身で行っていただきます (昨年実績 : 航空券往復 14 万程度)。また、現地で、大学や現地関係者の指示や約束に従わずに起こった事件・事故に関しては、一切責任を負うことができません。

10. 単位認定など

本事業「海外インターンシップ」は「Overseas Internship I・II」として単位認定を行う。1 年生が参加した場合の単位認定はないものとする。

11. 奨学金など

審査や諸条件により、九大基金 (8 万円) の奨学金が本事業に適応される可能性がある。詳しくは、申込後に案内する。ただし、同一年度、および、2 年連続の受給はできない。

12. 申し込み期限と申込先

申し込みを希望する場合、保護者へ学部からの案内を見せ、十分に実施の趣旨とリスクを認識していただいた上で、申請書と誓約書を添えて、5 月 11 日(月)17 時 (厳守) までに、必要書類を教育学部学務窓口まで提出ください。その上で、日本センターが指定する申し込み口に、窓口教員が 5 月 15 日 (金) までに提出します。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

竹熊 尚夫 教授 (教育学部 国際教育環境学講座 比較・国際教育第二研究室)

takekuma.hisao.847@m.kyushu-u.ac.jp

木村 拓也 教授 (教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室)

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp

教育学部 Overseas Internship in モンゴル 参加申請書

教育学部長 殿

指導教員氏名

学生番号

学生氏名

携帯電話番号

E-mail アドレス (PC)

申請にあたり、下記の質問に回答してください。

回答に番号がある場合は、当てはまる方に丸をつけてください。

解答欄が括弧の場合はそこに記入してください。

1. パスポートは、1. 持っている 2. 持っていない

2. パスポート番号 ()

3. 学研災に、1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない

* 3. の質問で、2と3と回答した人には、学研災に加入することとする。

* 全員、学研災の海外留学保険に加入を必須とする。(緊急搬送の契約があることが条件とする。)

4. 上記の保険加入について、1. 同意する 2. 同意しない

5. 教育学フィールド研究入門を、1. 履修している 2. 履修していない 3. 履修済みである

6. 事故等あった際に連絡する家族等の氏名と電話番号を書きなさい。

氏名： (続柄：) (電話番号：)